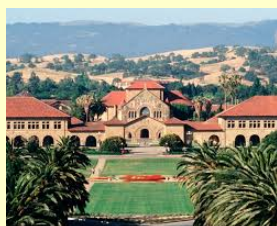


SSIS シリコンバレーツアー

世界の最先端を行く大学、ハイテク企業が集積する「シリコンバレー」を体感しませんか
企画：一般社団法人 半導体産業人協会 SSIS* 後援：独立行政法人 日本学術振興会

IoT(Internet of Things) をキーワードとして、システムから半導体デバイスまで、多角的な観点で大学、企業そしてミュージアムを訪問するツアーです。訪問先では「現在各人が遂行中の研究と IoT の関連付け」や「国際化時代のキャリアアップ」などのテーマで討論する場があります。本ツアーに参加することによって、今後の学習や研究の進め方に関するヒントが得られ、進路形成にも役立つことと期待しております。

(*一般社団法人 半導体産業人協会 SSIS は半導体分野の専門家が集う非営利団体です。 <http://www.ssis.or.jp>)



■訪問先：

- ・ 大学：カリフォルニア大学バークレイ校 IoT 研究室 スタンフォード大学ナノデバイス研究室
- ・ 企業：LAM Research 社（プロセス装置） Synopsys 社（EDA ツール）
 東芝メモリ社北米開発センター（フラッシュメモリ）
- ・ ミュージアム：Intel Museum（デバイス） Computer History Museum（コンピュータ）
- ・ 日本人実業家：谷上秀行氏

■日程： 2018年3月11日（日）羽田空港出国、3月18日（日）羽田空港帰国。

■募集対象および募集定員：

学部生、院生、ポスドク、教員いずれかで合計 11 名。

■費用：航空運賃、ホテル、朝食、昼食(一部)、現地バス代を含み、298,000 円。

ただし ESTA 申請費用、旅行保険料及び夕食代は各自負担。

■同行者：鈴木 五郎 SSIS 論説委員会副委員長（北九州市立大学名誉教授 元(株)日立製作所）
井入 正博 SSIS 監事・論説委員（元(株)東芝）

■お申し込み：

- ・ 手段：一般社団法人半導体産業人協会・論説委員会宛てメールで。E-mail：ronsetu@ssis.or.jp
- ・ 内容：Word 版 A4 サイズで下記内容を 1 ページごとに記載。ただしフォーマットは自由。
- ・ 大学名、学部・学科・専攻科名、学年、指導教員名、お名前、携帯番号、メールアドレス
- ・ 作文「現在の研究内容と参加目的」 ただしまだ研究室に所属していない場合は「参加目的」
- ・ 締め切り：2017年12月15日（金）

申し込みを頂きますと、(株)阪急交通社より必要書類を郵送しますので、参加者各位は(株)阪急交通社と旅行契約をしていただきます。

【企画／申し込み／問い合わせ】 一般社団法人 半導体産業人協会・論説委員会 TEL：03-6457-3245 (10～12時 13～16時 金土日祝休み) E-mail：ronsetu@ssis.or.jp 〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-27-10 塩田ビル 202	【旅行手配／実施】 (株)阪急交通社法人団体営業本部「SSIS 担当」 TEL：03-6745-7370 (10～18時 土日祝休み) E-mail：kume@hei.hankyu.co.jp 〒153-8589 東京都目黒区青葉台 3-6-28 住友不動産青葉台タワー8F
--	--

SSIS シリコンバレーツアー

■日程

- 2018年3月11日(日) 14:00 羽田空港にてオリエンテーション
18:20 羽田空港発 ロサンジェルス経由 16:36 サンフランシスコ空港着
18:30 ホテル Berkeley Travelodge 着
- 2018年3月12日(月)
午前：カリフォルニア大学バークレイ校 SWARM Lab 訪問 午後：サンフランシスコ観光
- 2018年3月13日(火)
午前：Synopsys 社訪問
午後：実業家谷上秀行氏宅訪問と討論 ホテル Ramada Sunnyvale 着
- 2018年3月14日(水.)
午前：スタンフォード大学 INMP Lab 訪問
午後：Computer History Museum 訪問
- 2018年3月15日(木)
午前：LAM Research 社訪問 午後：Intel Museum 訪問 ホテル Berkeley Travelodge へ
- 2018年3月16日(金)
午前：東芝メモリ北米開発センター訪問 午後：wrap up 討論
- 2018年3月17日(土) 07:00 サンフランシスコ空港発 ロサンジェルス経由
- 2018年3月18日(日) 14:25 羽田空港着

■注意事項

- 3月11日(日) オリエンテーション内容
SSIS から：ツアーの主旨、スケジュール、訪問先の概要、など
学生から：自己紹介、遂行中の研究内容、ツアー参加の目的と目標、など
- 3月16日(金) wrap up 討論内容
これからの研究の進め方や人生設計などに関連して「今回のツアーで得られた成果」
- (1)(2)とも PP:Power Point を使った日本語での発表。全員 PC を持参のこと。
発表内容は英語版 PP も用意し、英語のスク립トも準備のこと。ツアー中に使用する場合があります。
- 訪問先企業や大学では「現在各人が遂行中の研究と IoT の関連付け」や「国際化時代のキャリアアップ」に関して討論を行いますので、英語のスク립トを準備のこと。
- 3月13日(火) 谷上秀行氏* 宅訪問の際、自己紹介、ツアー参加の目的、将来の目標、などを各人日本語で話してもらいます。
*1950年大阪生まれ、1970年渡米。ルイ・ヴィトンを日本に輸出する仕事を皮切りに、現地のエンジニアとEEPROMの設計会社Catalyst Semiconductor Inc.を設立、など大成功をおさめたシリコンバレー在住の実業家。食事をしながら大変貴重な人生談を伺えます。
- 学部低学年、女性のペアおよび留学生の応募も歓迎です。
- 本ツアーに関する全ての問い合わせは ronsetsu@ssis.or.jp (論説委員会御中) までメールでお願い致します。